

# カトレア

2011 Winter

83

平成23年

Cattleya

川内市医師会立市民病院

## CONTENTS

### 特集 新年の挨拶

看護部だより／新人紹介

御意見箱／NEWS

第11回身体に優しい健康レシピ

リレーエッセイ



### 基本理念

私たちは、信頼される地域医療支援病院として、医療を通じて地域社会に貢献します。

### 基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、信頼される高次救急医療の確立を目指します。
2. 職員が互いに尊重しあう職場作りをめざし、チーム医療の充実に努めます。

### 患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 自分の病気について納得するまで十分な説明を受け、その上で検査や治療を選択するとともにその医療機関を決定する権利があります。
3. 個人の情報は保護される権利があります。
4. 自分の診療について知る権利があります。



# 平成二十三年 新年の挨拶

## 新年あけましておめでとございます

院長 石部 良平

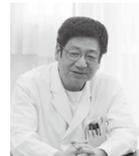
早いもので、昨年1月に院長を拝命して、もう1年が経ってしまいました。私自身、この1年間で何か成長できたものがあるかな、と自問自答しているところですが、年齢を重ねて、頑固さが増しただけのような気がします。ただ、病院としては、職員の皆さん方の努力のおかげで、やや伸び悩んでいた収益が少し上向いてきたように思います。

昨年の院長就任のあいさつの中で、私は皆さんに、この病院を利用して、大いに生活をエンジョイしてください、と書きました。病院の体力（収益だけではなく、職員の心の余裕なども含めて）がなければ、それは絵に描いた餅です。収益を上げることに追まわられて、福利厚生も、学びの環境も二の次になりがちです。しかしながら、患者さん本位の医療に努め、さらに種々の施設の認定をとるなどして、病院自体に価値が認められれば、収益も付いてくるし、また、研修できる環境に引き寄せられて、人も集まります。すなわち良循環の中で、職員の皆さんは心に余裕を持って仕事に打ち込むことができ、また自分のbrush upにつながる研修に、積極的に参加することができるわけです。病院に体力があるということは、職員の皆さん方が、仕事、勉強、余暇を十分に楽しめるということなのです。

## トピックス 2010

1月

4日 石部院長就任



27日 NST研修会「GFO療法・経腸栄養について」

2月

上旬 外来満足度アンケート調査（サービス向上委員会）

22日 職場体験（川内中央中2年）



豆まき

3月

19日 「2010年度診療報酬改定」研修会

24日 NST研修会  
「慢性腎不全患者の栄養管理」

27日 卒園式（ちゅうりっぷ園）

30日 お花見（リハビリセンター）



4月

1日 開院式典  
阿南副院長就任



13日 第15回市民病院学術発表会

ところで職場の中においては、何が一番大切なのでしょう。施設の設備でしょうか。高額  
の医療機器でしょうか。いやいや、そうではないと思います。それらを使いこなす職員であり、  
それをサポートする職員のはずです1番大切なのは。職員は病院内で、各々の部署ごとの専門  
チームに属して仕事をしており、それらのチームがお互いに協力し合うことにより、病院の業務  
は成り立っていると考えています。

各職場内では、新人さんは新人さんの役目があり、また中堅どころは、新人さんを育て、さ  
らに上を目指すという役目があるはず。そこでの職場のトップの役割は、これらの後輩職  
員を、自分の跡継ぎとすべく育ててゆくことだと思います。そのためには、時には厳しく、時  
には寛容に、後輩と接せねばなりません。この間合いが非常に難しい。真剣に衝突する場面も  
あることでしょう。しかし、その底辺に相手に対する愛情や、尊敬の念があれば、雨降って地  
固まるという諺のように、衝突により、かえって良い方向に向かってゆくのではないでしょ  
うか。中堅どころの幹部は、世にいわれるように、下からは突き上げられ、上からはがみがみ  
言われる、いわゆる中間管理職の悲哀を経験しなければなりません。しかしながら職場のト  
ップは、この中間管理職の思いを十分に理解して、彼らを見事に自分の後釜に育てなければ  
ならないという絶対的な使命があるのです。それが、トップたるもののidentityだと確信  
します。

昨年私の目標は、正義、公正という、病院として生きてゆくための最低限の規律  
でした。もちろん、この目標はこの先もずっと重きを置いて目指すべき大切な  
ものです。ただ、今年は、病院自身が生き残ってゆくためにも、その職場で働く  
職員の、人と人との「和」という言葉を目標に掲げたいと思います。各職場内  
での縦の規律もその一部ですし、また、各職場間の連帯もその意味で非常に  
大切なことです。そのようにして、先輩は後輩を育て、後輩は先輩に尊敬の  
念を抱いて、職場内、職場間で仲良くしていけば、必ずやこの病院は、益々  
発展してゆくものと考えます。

本年も仲良く、厳しく、和気あいあいと付き合ってください。よろしくお  
願いいたします。



31日

NST栄養サポート専門療法士  
教育施設認定

5日

急性心筋梗塞連携バスケット  
オフミーティング

8月

30日

三重大学病院 中村先生  
「肺塞栓症予防対策研修会」



七夕まつり

21日

県赤十字血液センター 宮下先生  
「輸血製剤の取り扱いについて」研修会

1日

本坊副院長就任  
外来医事ニチイ学館へ委託開始



7月

23-25日  
「女性の為の安全研修会」



5~6日  
看護部新人1泊研修

上旬  
高規格救急車導入



6月

20日  
第5回北薩がんネット症例検討会

5月

# 「卯年に亀のように…」

看護部長 関口了子

明けましておめでとうございます。

新しい暦や年賀状のどれにも、干支の「うざぎ」が描かれ、混迷する今の社会情勢において「四方八方・遠近の情報を耳立ててもらさずキャッチし、機をのがさずジャンプしなさい」と示唆されている感じがします。

新春の情報とはいえませんが、昨年から引き続き今後の動向を追視しなければならないと思うことは、昨年6月厚生労働省が医療の質の向上や情報公開を促進する目的で「医療の質の評価・公表等推進事業」の参加団体を公募し、国立病院機構・全日本病院協会・日本病院会の3団体が選ばれています。事業参加の条件に「①10以上の臨床指標を選定すること、②選定する指標はすべてプロセス指標またはアウトカム指標とし、患者満足度に関する指標以外のアウトカム指標を2つ以上含むこと」などがありました。このことは近い将来、臨床指標の実測と公表が一般病院にも求められるようになると思われる。それに伴い看護臨床指標も同様になるとの感じがしますので、看護部としての体制整備を検討しておきたいと考えています。

中央の審議会では、看護のアウトカム指標やチーム医療の効果を測る指標として、患者の「重症度・看護必要度の改善率」を用いることも提案されています。現在の看護必要度が看護質改善に直結するかどうか、看護臨床指数として適切かは今後議論されますが、回復リハビリテーション病棟においては、2008年から現在の看護必要度を重症群の改善率アウトカム指標として使用されていますので、日々の看護必要度実測は個々の職員が責任をもって確実にできる体制確立が最低の必要条件になるかと思っています。しかし、個々人の責任で行うと決められたことを忙しくて「うっかり」などの理由で実施されていない現状があります。これは、看護師のみ・必要度入力のみでの事だけでなく約束事が守られなかったことを自他ともに黙認している職場環境を改善する必要があると言えます。まずは、全職員が医療に関わるものとしての職業倫理（以下①②③）を認識し、日々行動をすることからと考えます。

- ①「人間尊重」：相手を尊重しつつコミュニケーションを通して活動をすすめる
- ②「益になるように」：相手にとって、できるだけ益になるように、害にならないようにする
- ③「社会的視点での適正さ」：自分がしようとしていることを社会全体の視点でチェックし適切な活動をする  
ともあれ、臨床指数は質の高いサービスを提供している・提供できる病院かどうかを表すことになるので、「うざぎとかめ」の兔のように過信して手抜きをすることなく、地域密着の信頼される病院目標達成を目指し、かめのようにたゆまず研鑽していきたいと思っています。

下旬  
外来待合室  
パーテーション設置  
外来・病棟トイレ改修



26日  
施設見学（太陽化学・カクイックス）

13日  
第16回市民病院学術発表会

8-9日  
救急消防援助隊九州ブロック合同訓練

6日  
特別講演会 済生会 畠中先生  
「当院における免疫組織学染色について」

10月



下旬  
看護部新人研修「患者一泊体験」

14日  
「接遇による患者満足向上」研修会

11日  
ちゅうりつぶ園運動会



患者1泊体験

中旬  
外来待合室椅子整備

9日  
集団救急事故訓練



上旬  
電動ベッド購入

1日  
日本内科学会教育関連病院認定

9月

# 「春よ来い」

事務部長 米山 光明

初春のお慶びを申し上げます。

皆様と共に新春を迎え新しい一年に、いざ出陣!どんな年に!!できるか…。昨年の診療報酬改定は、当院にも正に「やっと一息」の感を与えてくれていますが、コスト上昇も並行しており油断できない状態にあります。更に、次回の医療・介護同時改定は、連携重視のなか当院運営の在り方にも大きく影響することも懸念されます。また強い経済・強い財政・強い社会保障というキャッチフレーズを掲げた菅政権も足元弱く、いつ躓くのか非常に懸念される所で、私達は強い市民病院にするために自助努力を絶やさない事が大事であります。

昨年は、患者満足という面で、患者待合フロアの椅子の新調、病棟の電動ベッド化・トイレ改装等を実施しました。また内部体制という面では、副院長2名を迎えることで組織力の強化にも繋がり、石部新院長体制が整った年になったと感じております。只、昨年7月に窓口総合受付を外部委託に変更し、患者、職員にも多大な迷惑をかけてしまったことは残念な思いではありますが、患者満足を高める手段としての事で早く正常化しなければなりません。

ところで朝の連続ドラマ「てっぱん」は、私の朝一の楽しみと、自分を振り返る良い機会になっています。常に前向きにチャレンジするヒロインに影響受けながら全員がまとまっていく、家族と仕事、責任と友愛、良くバランスが取れています。「和と協働」により質の高い結果を出すために全力投球の「チーム医療」もドクターを核にコミュニケーションを図りながら日々色々な出来事がありますが、テレビのようにハッピーエンドとは限りません。しかし常に患者・家族に納得いただけるよう全職員が願っていることは言うまでもありません。病院の経営面で、今年は中期3ヵ年計画2年目の施策実施の年であり3ヵ年計画を達成するための大事な年となりますので、昨年印象に残ったコラム2つを紹介しておきます。

- ① 理念なき経営は最低であり、利益なき経営は最悪である。
- ② 経営とは、今使える経営資源「人・物・金・情報」を最大限に活用して、その時に出せる最大の結果を出す事である。

この2つは、当たり前の事ですが、意識して経営計画に生かしていくことが今必要であり、全職員に意識して欲しいと思っています。サービス向上委員会により、1月の末までに職員満足度調査が実施される予定です。職員の意見を吸い上げ改善の道を探る、これは1個人・1部署だけの解決は至難なことで、全員で一緒に改善すべきは改善の道を見つけ、良いことは更に前進させていく姿勢が大切だと思っています。全員一丸となり、より良い職場環境作りに取り組むことが、より良い地域医療貢献にも繋がるものと考えています。今年も、日々繁忙・多彩な一年になると思いますが、亀に追い越されることなく実り多き兎年になるよう祈念するところです。今年も一緒に意見しながら私達の地域の市民病院を運営して行きましょう。

## 個人資格取得者

【臨床心理士】

田中 ひろみさん (連携室)

【日本看護協会感染管理 認定看護師】

中野 智子さん (感染管理者)

【日本消化器内視鏡学会認定

消化器内科技師】

濱田 りかさん (看護師)

吉永 裕子さん (看護師)

中島 武士さん (看護師)

【第1種放射線取扱主任者】

山根 一将さん (放射線技師)



## 12月

11日 生活発表会(ちゅうりつぷ園)



1日 鹿児島県がん診療指定病院認定

10~12日 職場体験 (川内商工2年生)



## 11月

1日 日本がん治療研修施設認定

# 私の自慢

～看護部だより「ひまわり」Vol.9より～



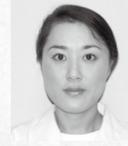
私は物事に対して積極的になれないこともあり、行動を起こすきっかけは他の人の応援が必要な場合もありました。学生時代は「ボランティア部」に所属し、さまざまな施設を訪問してたくさんの高齢者や障害を持った方と接してきました。この経験もいろいろな人に支えられてできたことで、その支えが応援となり、卒業までやり遂げることができました。今考えるとその活動が今の看護の道に繋がったのかなと思っています。

2年前に看護学校を卒業し、国家資格を取得しました。学生時代はとてつらい思いを何度も味わいましたが、その苦しみ乗り越えられたからこそ、たくさんの人に出会い、今看護師として働いていると思います。仕事をしている今も周りに支えてくれる人がたくさんいて、力を借りながら自己検閲の毎日です。その日々の中で考える今の私の自慢は「何に対してもあきらめずやり遂げる」ことです。自分が目標とする大きな壁を乗り越えたときの達成感を夢見て、これからも努力していきたいと考える今日この頃です。

3階東病棟 看護師 田代 季沙

## 「新人さん」いらっしゃ〜い

10月～12月までに私達の仲間となったスタッフをご紹介します。どうぞよろしくお祈いします。

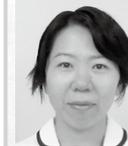
ご縁がつながり、このたび帰郷いたしました。初めての臨床の場。1日でも早く仕事を覚え、即戦力となれるよう努めて参ります。未熟者ですが、どうぞよろしくお祈い致します。

栄養管理室 管理栄養士 木下加奈子



改めまして……また宜しくお願いします。(´v´)(´v´)(´v´)(´v´)(´v´)

4階東病棟 看護師 日渡 明子



初心を忘れず自分自身成長できるように頑張っていきたいと思ひます。ご指導よろしくお祈い致します。

外来 看護師 塩谷志穂子



不慣れな事ばかりでご迷惑をおかけします。少しでも早く仕事出来るように頑張りたいと思ひますのでよろしくお祈いいたします。

薬剤科 助手 山下さおり



分からない事ばかりでご迷惑をおかけしますが、早く職場に慣れるよう頑張りますのでご指導よろしくお祈いします。

薬剤科 助手 村尾 美香



分からない事だらけで、皆さんにご迷惑をかけることもたくさんあると思ひますが、少しずつ覚えていけるように頑張りたいと思ひます。よろしくお祈いします。

4階西病棟 リネン係 田頭 朋美



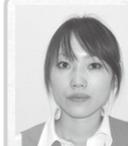
ご迷惑をおかけする事もあるかと思ひますが、早く業務に慣れるよう頑張ります。ご指導よろしくお祈いします。

事務部 総務課 富田 真穂



一日でも早く慣れる様頑張りたいと思ひます。ご迷惑を多々おかけすると思ひますが、よろしくお祈い致します。

事務部 総務課 横山由紀子



分からない事が多くて迷惑をおかけします。一生懸命頑張りますのでよろしくお祈いします。

事務部委託 医事外来 柳田由香梨

サービス向上委員会より



# 意見箱



## サービス向上委員会とは

川内市医師会立市民病院における接遇を医療サービスの一環とし、患者様に満足のいくサービスを提供する事を目的とした委員会です。

### ご意見

患者さんからの質問や要望に対して看護師さんが「聞いてきます」「後で連絡します」という受け答えをしますが、その後の連絡がなかったり人によって回答が違ったりします。要望を全て受ける事はできないと思いますが、質問・要望に対する報告と看護師間の連携をもっと図ってほしいと思います。

### 回答

患者さんからの質問に対し、お答えするのは当たり前の事でありながら、返答までの時間が遅れてしまったり、あるいは途中で他の患者さんから同じように質問を受け、最初の患者さんの質問を失念してしまつ、などということが起こつてしまいます。今後このような事が無いよう、大切な事はメモをとり患者さんの要望・質問にはできる限りの

### ご意見

速やかに対応する様心がけて参ります。

受付、会計が待たせすぎる。  
(ご意見複数あり)

### 回答

待ち時間に関しては大変ご迷惑をかけております。昨年7月より総合受付を当院職員より外部業者に業務委託を実施し、八月までは病院職員が繁忙時間帯等サポートしていましたが、その後、外部業者が大半で教育担当が指導しながらの業務をしています。業務がスムーズに遂行する様改善していきますので、ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

### ご意見

目上の方に対して言葉使いが不適切だと思えます。患者に對してもっと優しさがほしいです。職員教育を徹底してほしいです。また、体臭も気になりました。エチケットに注意してほしいです。

### 回答

病棟の問題としても真摯に受け止め、リーダー会を通じて、スタッフへの接遇マナーについて、適切な対応に努めるように周知徹底していくよう指導いたしました。当病棟は、化学療法を受ける患者様も多く、匂いに対して、敏感になり吐き気がでる方もいらっしゃいます。その方たちへの配慮も十分にしていかなければなりません。エチケットとして気をつけるよう指導いたしました。気になる時は、随時、声をかけていくようにいたします。

### ご意見

身障者用駐車場にライトをつけて欲しいです。秋～冬は夕方、乗車の際に暗くてとても不安です。介護に注意しても危険があります。よろしくお願ひします。

### 回答

ご意見ありがとうございます。10月7日に身障者用駐車場のライト設置をいたしました。ご安心して利用頂けるよう細心の注意を払っていきたいと思います。



貴重なご意見ありがとうございます。

## NST教育施設認定



当院は日本静脈経腸栄養学会より「栄養サポートチーム(NST) 専門療法士認定教育施設」として認定されました。NST専門療法士とは日本静脈経腸栄養学会の定める所定の条件を満たした者を主として静脈栄養・経腸栄養を用いた臨床栄養学に関する優れた知識と技能を有しているとみなし認定するものです。当院の職員も現在修練カリキュラム中であり、来年の資格取得を目指しています。

## 救急消防援助隊合同訓練



10月8・9日、緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練が薩摩川内市宮里町宮里公園で開催されました。この訓練は大規模地震などが国内で発生した場合を想定し九州地区の消防本部が集結、予想される様々な災害に備え訓練を実施するものです。今年には「県北部を震源とした大規模な地震により甚大に被害が発生した」との設定で126部隊、約500人という多数の参加者のなか、当院からも川上医師、濱田医師、大迫看護師、濱田看護師が参加しトリアージ区分や応急処置などを行いました。

## NEWS

October-December  
2010



今月のスマイル

## 施設見学



10月26日「太陽化学・カクイックス」の施設見学へ行きました。看護師7名、看護助手6名の参加者のなかには実際に医療廃棄物やリネン類の取り扱いを担当する者もあり、回収された後はどのような過程で処理されるのかとても興味がありました。見学を通し、針など異物の混入、感染症のリネンの扱いなど決められた事を守ることが作業員への安全の確保となり私達に出来ることであると気づかされ、気持ちを新たにしました。

## 健康教室



10月24日(日) 8:30より川内南中学校にて川内市医師会主催による「親子の健康教室」が開催されました。当院からは桑木野・石原理学療法士が参加し運動教室を開催、エルゴバイクによるBMI・体脂肪測定などを行いました。参加者は思った以上にカロリー消費量が少ないエルゴバイクにカロリー消費の大変さを実感していました。

## 学術発表会



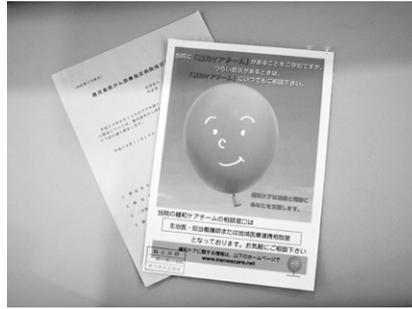
10月13日(水) 当院にて第16回市民病院学術発表会が行われました。院内135名、院外19名の参加者のなか、院内各部署より8演題の発表がありました。看護師や薬剤師、医師など多様な職種からの発表に質疑応答を含め約2時間、充実した発表会となりました。次回は来年4月に開催予定です。院外からの参加も多数お待ちしております。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

## クリスマス



12月24日のクリスマスイブ、3階東病棟にサンタクロースが現れました。二人のサンタは久留須師長手作りのメッセージカード入りのお菓子を入院患者さん1人1人にプレゼントしました。サンタの正体は九玉医師と波戸看護師。思いがけないクリスマスプレゼントに入院患者さんからは笑みがこぼれていました。

## がん指定病院認定



平成22年12月1日付で当院は「鹿児島県がん診療指定病院」に指定されました。がん診療指定病院とは鹿児島県におけるがん医療の地域格差解消・均てん化の推進を図るため、国が指定するがん診療連携拠点病院に加えて、都道府県ごとに専門的ながん医療・相談支援体制の充実を図り、各地域において県民に安心かつ適切な医療が提供されることを目的とする病院です。今後は「がん診療拠点病院」と共に地域住民の皆さまに質の高いがん医療を提供する役割を担っていきます。

## 生活発表会



12月11日(土) 社会福祉協議会館にて第18回ちゅうりっぷ園生活発表会が行われました。年長さんのご挨拶から始まり、合奏や、お遊戯、劇などが発表されました。今までの練習の成果を元気一杯に見せてくれた子供達は、とてもステキで、観ているご家族からたくさんの拍手が送られました。

## 忘年会



12月17日、太陽パレスにおいて市民病院忘年会が開催され、医師会役員、職員併せて283名の参加がありました。まず始めに院長・会長の挨拶、そして役員紹介が終わると開宴。各部署からの余興では熱演に歓喜、驚愕、絶賛の嵐。最後の抽選会では豪華賞品に大いに盛り上がり、楽しい会となりました。

## 清掃作業



11月9日(火) サービス向上委員会主催で全体ボランティア奉仕作業が行われました。今年は6月に続いて2回目の清掃作業となり職員は仕事の合間を縫って、草刈り機による草刈りや草取り、収集を行い、駐車場や病院周辺を中心に作業を行いました。当日は、風も冷たく、気温も低い中での作業となりましたが、汗をかきながら一生懸命に取り組む職員の姿がみられました。

## 職場体験



11月10日～12日の3日間にかけて川内商工高等学校2年生の山川玲央君、堂脇茜さん、木佐木愛さん、福山香穂さんの4名の職場体験学習が行われました。病棟、保育所、リハビリセンターなど各部署で初めての体験に緊張しながらも、与えられた仕事を各自で工夫しながら一生懸命取り組んでいました。

第11回

身体に優しい健康レシピ



いわし大豆バーグ

(エネルギー 229kcal たんぱく質 19.3g 塩分 2.2g)



作り方

- ①. いわしは頭、内臓、骨を取り下処理を行う。
- ②. 水煮大豆は、洗って水気を切る。
- ③. ①と生姜、白ネギをフードプロセッサーで細かくする。ある程度の細かさになったら、②と豆腐、味噌、酒、片栗粉を加えて、さらに細かくする。
- ④. だし汁、酒、みりん、砂糖、しょうゆを混ぜておく。
- ⑤. 大根はすりおろしておく。
- ⑥. フライパンにサラダ油を入れて、③を二等分にして形を整えて並べ、焼き色が付いたらひっくり返し、蓋をして焼く。
- ⑦. ⑥に④を加えて、からめながら煮詰めていく。
- ⑧. ⑥を皿に盛りつけ、大根おろし、しその芽を盛り付け、上にきざみのりを散らす。

材料(1人分)

|      |        |
|------|--------|
| いわし  | 1匹     |
| 木綿豆腐 | 50g    |
| 水煮大豆 | 10g    |
| 生姜   | 1g     |
| 白ネギ  | 5g     |
| 味噌   | 2g     |
| 酒    | 大さじ1/4 |
| 片栗粉  | 大さじ1弱  |
| だし汁  | 大さじ1   |
| 酒    | 大さじ3/4 |
| みりん  | 大さじ3/4 |
| 砂糖   | 大さじ3/4 |
| しょうゆ | 大さじ1   |
| 大根   | 50g    |
| しその芽 | 適量     |
| のり   | 適量     |

冬の食材

もうすぐ節分です。今回は、節分を代表する食材でもある、いわしと大豆を使った、いわし大豆バーグをご紹介します。

いわしには、歯や骨の素となり骨粗鬆症を防ぐカルシウムと、そのカルシウムの吸収を助けるビタミンDが両方含まれており、成長期の子供や中高年の方にお勧めです。

さらにいわしには、EPAやDHAといった不飽和脂肪酸が、青背の魚の中で最も多く含まれています。これらは血中のコレステロールや中性脂肪を減らす働きや、脳の働きを良くしたり、老化防止に役立つなど、主に生活習慣病(成人病)の予防効果があります。また、貧血を予防する鉄分、その他に亜鉛やカリウムなども豊富で、栄養的に非常に優秀な魚です。ぜひ作って食べてみて下さい。

管理栄養士 二又 朋世

リレーエッセイ

「私を救ってくれたもの」

4階東病棟  
看護師

西野 瑞代

平成21年4月4日、陣痛促進剤を使用し2日目。出産予定日より1週間遅れての本格的な陣痛がやっと始まった。深夜0時陣痛開始、12時間後医師の診察を受けやっと分娩台へ昇る許可がおりた。分娩室へ入室し15分後元気な産声とともに男児が誕生した。目がクリクリした可愛い男の子。保温機の中で元気に泣くわが子を見つめながら、産後の処置を受けていた。しかし、医師から「出血が多いな」とつぶやく声。自分でも何かとめどなく流れ出る物を感じていたが、それが出血であることが分かるのとみるみる視界がぼやけ、息苦しさを覚えた。スタッフへ気分不良を訴えたが、その直後話すことも出来なくなり、体の力も自然と抜けていった。最後まで聴力が残るといふのは本当で、スタッフが医師へ「血圧測定できません」など慌ただしいやりとりだけが聞こえた。このまま私はどうなるんだろうと思っていた矢先、今生まれたばかりのわが子が今までのにない大きな声で泣き始めた。その鳴き声が耳に届き、「そうだ、この子を残して逝くわけにはいかない」と消えそうな意識を奮い立たせ、その処置をどうにか乗り切った。出血性ショックだった。消えゆく意識を支えてくれ、私を救ってくれたもの。それは誕生したばかりのわが子だった。その子ももうすぐ2歳。まもなくお兄ちゃんになる予定。